

老後の生活では、

現役中にできなかったことをしようと、
計画を立てている方もいるでしょう。

また、老後の生活に入ってから、
ゆっくり考えてみる。
という方もいるでしょう。

そこで今回は、
これからリタイアする方に向けて、

こんな時代だからこそ、

老後の生活を柔軟に考えてみたいと思います。

老後の生活で変わることを確認する

まずは、老後の生活で、
現役時代の生活と
変わることを確認しましょう。

老後の生活に入れば、
パット、思いついただけでも、
次のことは、変わります。

今までは、
勤務先から定められたスケジュールで、
一日のご自身の生活が動いていました。

勤務先が休みの時だけ、
ご自身で、
一日のスケジュールを、
決めればよかったです。

しかし、リタイア後は基本的に、

一日 24 時間、一年 365 日(今年は 366 日)、

毎日ご自身で、

ご自身のスケジュールを決めることになります。

勿論、通院したり、
旅行に行ったり、
気の合った仲間と集まったり、

といった時間は、

リタイア後も生涯あるでしょう。

このような時間を含め、
基本的には、
時間管理はご自身ですることになるのです。

また、家計収支も変化します。

まず収入は、

- ・ 老齢厚生年金や老齢国民年金といった、
公的年金
- ・ 人によっては、
勤めていた会社からの企業年金
- ・ 現役中に積み立てていた、
個人年金保険
- ・ 金融商品の運用益

このほかにも、
老後の生活に備えて、
準備しているかもしれません。

多くのご家庭では公的年金を基本に、
家計収入が成り立っていきます。

つまり、現役の時代より、
収入が減ることが予想されるのです。

では、家計支出の方はどうでしょう。

あなたにとって、

現役の時代からくらべて、
リタイア後に、
家計支出が減る項目はなにがありますか？

あらためて考えてみると、

- ・ 食費？
- ・ 自宅の光熱費？
- ・ 携帯の電話代？

中には、住宅ローンが退職の時期にあわせて、
完済するように、
計画的に借り入れている方もいるでしょう。

ただ、おおよそ退職したから、
支出が減ることは考え難いです。

むしろ、医療費や介護の費用など、
将来的には、
増えていくかもしれません。

老後、快適な生活をするために

では、快適な老後の生活を迎えるためには
どうしたら良いのでしょうか？

老後の生活での家計は、

収入は減る。
支出は現状維持かむしろ増える。

とした生涯の家計収入のシミュレーションを
現役中にして、

老後の準備をしておくことです。

シミュレーションの結果、

70代、80代に
家計が成り立たなく、

つまり、家計が破たんするようであれば、
現役の時代から、
家計支出を抑える生活習慣にすることです。

老後に入ってから、
老後の生活を考えるのでは、
手遅れになるかもしれません。

支出を抑えるのが嫌ならば、
収入を増やして貯蓄を増やしておくことです。

なぜなら、家計は、
・収入
・支出
・貯蓄

でしか、コントロールできないからです。

考えてみれば、
すごく単純なことです。

コロナウイルスの影響で、
これから、
特に、家計収入が減少傾向のご家庭は、

この際、老後に向けた家計の支出を見直す、
良い機会かもしれません。

現役中から心得ておいて損でないこと

ここからお伝えすることは、
まったく必要のない方もいると思います。

念のためにお伝えしておきます。

老後に入ってから生活を、
現役に描いている方で、
考え違いをしている方がいます。

例えば、
現役中、勤務先では相当な地位であっても、
その威厳は、
勤務先のOB会では保つことは出来ても、

老後の生活では、
その地位は継承されません。

地域でのサークルボランティアで、
活動しようと思うのであれば、
まずは、その組織の掟に従うことです。

そして必要であれば、
時間をかけて改善していくことです。

また、現役中は必要に迫られて、
見栄を張っていた方もいるかもしれません。
しかし、老後の生活では、
見栄を張ることは必要ありません。

あえて評価を受けるのであれば、
老後の生活に入ってから、
今までの人生でご自身が作り上げてきた

「素」が、

評価の対象になるからです。

近所からの「お宅」の評価は、
既に現役中に定まっているからです。

だから、外見に必要以上に、
お金をかけても、
家族以外に誰が見てくれるでしょう？

単なる無駄使いです。

従って、コロナウイルスの経済的な影響を受けても、
また、予期しないできごとが起こった時でも、

現役中に、
家計収支の見通しを立てておけば、

また、改善しておけば、

人生のこれまで経験を生かして、

冷静に、
また柔軟に対応できるのです。

まだ、家計収支を把握されていない方は、
早急にしてみてください。

*****:
■「人生の添乗員（R）」からのワンポイントメッセージ
*****:

家計収支は現役中に把握しておけば、

老後の生活で何か起こっても、

柔軟に対応できます！

*****:
■人生の添乗員（R）牧野寿和のプロフィール
*****:

日本で唯一「人生の添乗員（R）」を名乗れる

公正中立な独立系ファイナンシャルプランナー

開業 17 年目

1958 年 名古屋市生まれ、大学（東海大学卒業）以外は、名古屋で生活をする。

1982 年～2001 年 旅行会社に勤務。業務で世界各地を廻っていた時、
日本の方と他国の方々のお金との付き合い方の違いを感じていた。
そんな時渡米した折に、初めてファイナンシャルプランナーの存在を知り、
日本でもこの業務の必要性を認識する。

2003 年 牧野 FP 事務所を創業。

コロナウイルスの影響を受けている、
また、これから影響を受けそうな、
ご家庭もあるでしょう。

対策を練るにあたり、
少なくとも、
現状の家計収支と貯蓄額。

それに、子どもの教育費など、
直近少なくとも5年間に必要な、
まとまったお金の額を
把握しておくことが必要です。

【人生の添乗員(R)】からのワンポイントメッセージ

来週もご愛読のほど、
よろしく願い申し上げます。

「人生の添乗員」「人生の行程表」は牧野寿和の登録商標です

■ 【人生の添乗員(R)】からのワンポイントメッセージ

発行：

牧野FP事務所合同会社 代表社員 牧野寿和
〒467-0823 名古屋市瑞穂区津賀田町2-86

■登録・解除は、ご自身でお願いいたします。
こちらから出来ます。

<http://www.mag2.com/m/0001575058.html>

■本メルマガに関するご意見・お問い合わせはこちらまで
お願いいたします

E-MAIL : makino.fp@beach.ocn.ne.jp

牧野 FP 事務所合同会社 公式サイト : <https://www.makino-fp.com>

■記事内容に関してのトラブル等について当方では一切責任を負いかねます。
ご自身の責任でご判断下さい。
